

# 日刊 動労千葉

85. 9. 25

No. 2047

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五〇六・（公衆）〇四七二二二七二〇七

## 中曽根のマジキに されてたまるか

労働学校感想文・成田都〇生

国鉄「分割・民営化」阻止、三里塚二期着工粉碎！



## ストを 貫徹しよう

九月十四日の第五回労働学校は、「分割・民営化阻止に向けて」をテーマに、中田一夫氏（社会運動家）を講師に迎え開催した。講義は、第10回定期大会のストライキ方針をより一層深める立場から(1)ストライキ方針決定の意義、(2)「分割・民営化」攻撃の狙い、(3)動労「本部」革マル批判、(4)いかに闘うか、という内容で約四時間にわたって行われた。受講生のレポートを紹介します。

闘わねば生きる道閉ざされる  
今回の講演を通じて、あらためて動労千葉のストライキ方針決定の重大性、重要性を感じた。

中田氏は、スト方針の意義について、①中曽根の反動政治、「7・26答申」に対する組合員の怒り、②三里塚・ジェット闘争、分離・独立の争闘戦でうちかためられた団結力が今回のスト方針決定につながった、と述べられたが、まさしくここで闘わねば中曽根のえじきとされ、国鉄労働者が生きる先は完全に閉ざされる。労働運動の原点・原則を貫き、たとえ少数であれ正義を正義として貫くため独立し「81・3」「60・3」を闘いぬいた動労千葉の真価を今こそ発揮するときだ。

### 30万国鉄労働者のけん引車に

さらに、③「ストで闘うべきだ」と怒りに燃えて闘いぬいている全国の国鉄労働者に対するはかり知れない激励を与えた、と述べられたが、国鉄労働者と家族

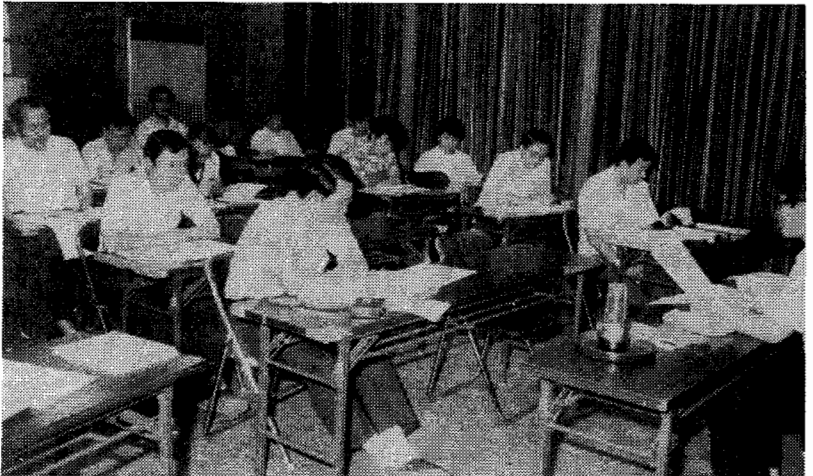
百万人を国鉄から放り出す攻撃に30万国鉄労働者が何の抵抗もなくつぶされるはずがない。われわれが、この30万労働者のけん引車とならねばと痛感した。

また、④に、動労「本部」革マル追放・一掃への大きな前進だ、⑤「分割・民営化」粉碎への大きな闘いがついにはじまったと述べられたが、まさにそのとおり中曽根に賞賛されるような組合など許せるか。こんなやつらを叩き出すためにも断固ストを貫徹しなければならぬ。

圧倒的多数の国鉄労働者は、有効な闘う方針を出さない中央指導部への怒りに燃えている。中曽根を打倒する道は、三里塚と国鉄決戦であることを訴え、20万国鉄労働者の大決起をかちとり、11月末ストライキを断固貫徹し、巨大な全国ストへの道を切り拓こうではないか。

### 「寄稿」

第Ⅱ期労働学校  
第5回講座授講風景



さあ、「年間12回」の講座の折り返し点まできたぞ。ときは、まさに勉学の秋。武器を鍛え、みかき、いざ闘いへと撃つてよう！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

### 動労千葉労働学校のご案内

第6回講座（前期最終）  
日時・10月12日（土）13時30分～17時30分  
場所・動力車会館  
テーマ・「資本主義と社会主義（その二）」  
講師・経済学者 村越敬二氏

第7回講座 日時・10月26日（土）13時30分～